

はつらつ座安っ子



【学校だより: 令和2年7月 第6号】
豊見城市立座安小学校 校長: 具志直哉

なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子～

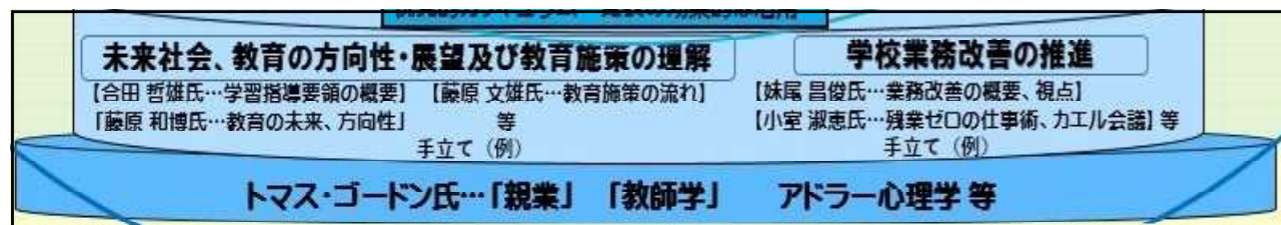
座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

「働き方改革」が巷で話題になり、課題にもなっているようですが、それは「休み方改革」ともつながっているように思います。つまり勤務後または休日を自分にとって充実させることは、平日の業務をも充実させていくと考えているのです。もちろん疲れていたら休み、リフレッシュの時間に充てます。私はそれ以外は、映画、博物館や美術館、講演会等への参加、ドライブ、突然2泊3日の旅行等々に出かけます。妻と、時には一人で。今は外出を自粛し家で読書とネットで良い講演や番組を見ることぐらいしかできませんが、休日に楽しい計画があるときには、平日もやる気が出て、効率的で効果的に業務に取り組みますし、何よりも休日で得た情報や自己研鑽は、仕事に生かすことができるのです。考え方や手立ての幅が広がる…というか。

さて今回は、教育目標実現を目指す手立て(方策)の説明の最後です。座安小学校の教育活動の根底を支える土台(理念)についてです。(右記の赤太枠の部分とそれを拡大した下図)これらは私のこれまでの教職の経験、休日などで得られた情報や自己研鑽の中で得た考え方などがもとになっています。多くの著名人、有識者の情報や考え方が座安小の取組の幅を広げ、教育を支えてくれます。



座安小カリキュラムの礎！～土台として大切にしたいこと～



トマス・ゴードン氏…「親業」「教師学」 アドラー心理学

子どもへの思いや指導は、言葉を中心に伝わります。ですから親や教師は 断家 ではありませんが、子育て言葉のプロであってほしいと思います。断家も言葉で伝える技術を鍛錬するように、親や教師も子どもが自ら伸びていく力を引き出すための、指導、支援という言葉の技術を磨く必要があります。これはかなり難しく、強

く意識しながら鍛錬しないと身につかないと思っています。その意識して鍛錬すべき技術の一つとして私が重視し、本校の教育の根底に位置づけているのが、「親業」及び「教師学」です。50年近く前に世に出されたこの書籍は、多くのカウンセラーや親、教師が人を育てる「話す・聴く」技術の不易のバイブルとして参考にし、活用してきました。親として教師としての基礎・基本であり、しつけや教育の根幹となると考えます。(これまでも学校だよりやメルポン等で多く紹介してきました)



未来社会、教育の方向性・展望及び教育施策の展開

これからの教育を考えていくときには、確かな情報により未来を展望し、3年後等近い将来の教育の方向性、目的を考え、教育施策を打つことが重要です。

- 藤原和博氏…メルポン【校長より1】で最初に保護者の皆様へ紹介した藤原氏です。(経歴等は省略)彼の考え方等は教職員とも共有しました。未来を見据え、必要な教育の在り方を共通理解し、進めていくために重要な情報や考え方です。
- 合田哲雄氏…今後の未来を見据えた、現行の学習指導要領について著書「学習指導要領の読み方・生かし方」で解説しています。普段の授業を充実させていくために教職員には必読書です。
- 藤原文雄氏…これまで50年余の教育施策の変遷等を見事に解説した著書が「教育施策入門」です。すべての教育活動がどのような経緯で何を目的に行われるのかがわかり、教職員が日々の教育活動を理解し、納得して推進していく上でとても重要な資料です。

三者の例は一例です。この三者から派生して得られる情報等をつなぎ合わせることで教職員の深い学びとなり、豊かな教育活動へと生かしていくことができます。

学校業務改善の推進

冒頭でも記載しました「働き方改革」です。元気な教師が元気な子を育てます。生き生きとした授業が子ども達の学力と社会力を育成します。

- 妹尾昌俊氏…先生に元気になってもらおうと、文科省の学校業務改善アドバイザーとして日本中を飛び回っています。学校の課題を明確にし、どうすれば業務改善の突破口が開けるのか多くの書籍に具体的に記載されています。
- 小室淑恵氏…国の「働き方改革」の火付け役です。安倍首相を始め、国が進める働き方改革のアドバイザーとしても活躍しています。多くの企業での実践は学校現場にも多くのヒントが得られます。

毎日の授業参観から…!



1年生だって、話し合い活動で自分の意見を伝え合ったり、先生のように、電子黒板を使って、教えることができるんだぞ!



夢中でがんばった虫取り体験は、きっと豊かな学びにつながっていく!